

内界の自由

永田 円了

お金、地位、名誉が全て満たされていても、心が貧しい人がいる
一方、過酷で困難な生活環境にありながら、心が十分満たされている人がいる。
この違いは、一体どこから生じるのであろうか。
前者は、外界の自由を最優先に考え、後者は、内界の自由の中に、真の喜びをあることを知っている人である。



外界の自由(liberty)とは
自由に行動できる環境があること



内界の自由(freedom)とは
外の環境がどうであれ、心
で考えることのできる自由
があること

内面の勝利

過酷きわまる外的条件が、人間の内的成長をうながすことがある

外的には破綻し、死すらも避けられない状況にあつてなお、人間としての崇高さに達した人たちがいる

ごく普通のありようをしていた以前なら、彼らにしても可能ではなかったかもしれない崇高さに

フランクル著『夜と霧』みすず書房



脳梗塞からの“再生” ～免疫学者・多田富雄の闘い～



今も地獄は続いている
しかし、今の方がよりよく生きているとも思う

欲望・願望中心の生き方から、意味と使命中心の生き方へ

私が本当にしたいことは、何だろう
私の人生の目標は何だろう
どんな希望や願望を実現したいのだろう

なりたい自分になる

私は、この人生で何をすることを求められているのだろうか
私のことを本当に必要としている人は誰だろう
その人のために、私にできることは何だろう

なるべき自分になる